

5) 公益社団法人日本理学療法士協会会員理学療法士対象 公認中級パラスポーツ指導員養成講習会(29.5時間以上)

領域	講習科目	内容	時間
医療	障がい各論	各種障がいに関する医学的・心理的な特性を学び、障がいに留意した指導が不可欠であることを学ぶ。 <視覚障がいの概要(1.0h) 聴覚障がいの概要(1.0h) 知的障がいの概要(1.5h) 精神障がいの概要(1.5h)>	5 以上
体育学	スポーツの意義と価値 (※演習を含む)	スポーツが本来もつ、身体的・文化的・社会的な意義や価値について学ぶ。また、障がい者にとってのスポーツの意義と価値についても学ぶ<演習：スポーツのインテグリティについて話し合う>	1.5
	スポーツ心理学	スポーツ場面における選手の心理状況を学び、指導者として効果的な心理的アプローチの方法について学ぶ。	1.5
	トレーニングの基礎知識	各種トレーニングの特徴を理解し、障がいに留意したトレーニングプログラムの組み立て方や実施上の留意点について学ぶ。	1.5
パラスポーツ	パラスポーツと理学療法士	理学療法士として、パラスポーツの造詣を深めるとともに、関わる意義やその方法について学ぶ。また、公認パラスポーツ指導者制度の概要を学び、指導者の役割についても学ぶ。	1.5
	地域におけるパラスポーツ振興	パラスポーツに関わる諸団体や関係所管について理解し、連携することの必要性について学ぶ。	1.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	我が国のパラスポーツを知る上でその歴史的な背景も含め、全国障害者スポーツ大会の概要を学ぶ。	1.5
	全国障害者スポーツ大会の障害区分	全国障害者スポーツ大会の障害区分を正しく理解し、障害区分を判定する際の留意点等を学ぶ。	1.5
	障がい者のスポーツ指導上の留意点と工夫	各障がいに応じた指導の事例を通して指導上の留意点(リスク管理含む)について学ぶ。	2
実技・実習	視覚障がい者のスポーツ実習	視覚障がい者が行うスポーツの体験を通してその種目の楽しさやルールを学ぶとともに、介助法(手引)やコーチング(方向指示・言葉かけを含む指導)の仕方を含め、安全にスポーツを実施するための留意事項について学ぶ。	2
	補装具(スポーツ用)を用いたスポーツ実習	スポーツ用の車いすや義足などを使用したスポーツ体験を通してその種目の楽しさや技術・ルールを学ぶとともに、起こりやすいケガとその予防法についても学ぶ。	2
	重度障がい者のスポーツ実習	重度障がい者が行っているスポーツ、レクリエーションの体験と様々な創意工夫の実例を紹介し、障がい者が重度であってもスポーツを楽しむことができることを体験する。	2
	全国障害者スポーツ大会実施競技の実習	全国障害者スポーツ大会の実施競技を体験する中で、その競技の特性やルールについて理解を深め、障がい者がスポーツを実施する際の指導上の留意点についても学ぶ。(他実習の時間と実施競技が重ならないようにする)	6 以上
レポート	活動実績報告	パラスポーツに関わるきっかけ作りとして、講習会終了後に個別に地域でのパラスポーツに関わる活動をし、その内容をレポートにまとめ提出する。	講習後 作成 提出
備考	講習会の中で、グループワークやアクティブラーニングを通じてコミュニケーション能力の向上をめざす。		